

『長谷川等伯 真にそれぞれの様を写すべし』

宮島新一 著 ミネルヴァ書房 2520 円（税込）

安土桃山期、「天下一」を目指す画家の生涯

長谷川等伯（1539－1610）は狩野永徳・海北友松らと共に安土桃山時代を代表する画家として名高い。中でも松林図屏風と楓図は、同時代を代表する作品として狩野永徳の唐獅子図屏風等と並び立つ、いや、それ以上の評価を現代では受けている。

しかし、画面中央の楓の大木に儂げな秋の草花を回りに鏤め、地を金箔で埋めた金碧画である楓図に対し、松林図屏風は光の見せる一時一時の移ろいを水墨画により表現する点で、まさに対照的である。

このような両極端な絵画を描いた長谷川等伯とは何者か。本書は残された等伯の作品、『等伯画説』なる等伯が絵画に関し語った内容を聞き書きした書物などの史料を駆使して等伯の人となりを再現することを試みている。

興味を引くのは、等伯が有力なパトロンを得るために活発に活動を繰り返している点である。現在の石川県出身である等伯には、狩野家とは異なり京の有力な武家・公家などの顧客がいた訳ではない。自らの確かな画力を頼りに当初は領主である畠山家へ、畠山家没落後は織田信長包囲網を形成していた朝倉義景・武田信玄連合へ近づくことで、当時の流行り言葉でいう「天下一」の画家となることを企てる（この際、朝倉氏より信玄への鷹等の贈答に対するいわば「受領書」として、有名な「武田信玄像」を等伯が制作したことを著者は明らかにしている）。しかし、信玄の死により等伯の目論見

は崩れ去る。

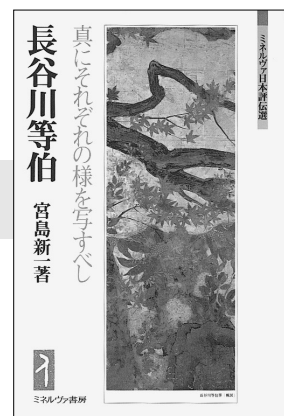
等伯は京へ出る。仏画にも卓越した技量を示していた等伯は、高名な僧侶を通じて、当時、資金的にも文化的にも力をつけ始めていた商人層という顧客を得、等伯自身も「絵屋」として、京の有力な町衆のひとりとなる。しかし、等伯は「絵屋」に満足せず「天下一」を目指し活動する。町衆として作り上げた人脈を駆使し、朝廷へ豊臣家へと接近する。前述の楓図はまさに等伯が「天下一」の絵師に上り詰めたことを示す。楓図は天下人豊臣秀吉の亡き男児を弔う祥雲寺を飾るために描かれたのであるから。

この後の等伯の興味は、顧客であった商人層の茶道文化を通じた中国絵画鑑賞趣味の影響からか、水墨画の世界へと流れる。とりわけ日本人が高く評価する牧谿（もっけい）の作品を、構図等を模写しつつ咀嚼していく。松林図屏風は、このような等伯の中国絵画理解の末に至った境地であった。

もっとも、等伯は「天下一」の画家から降壇した訳ではない。商魂は最晩年に至るまで健在であった。豊臣家没落の後、新たな権力者徳川家に接近するため齢七十にして京を下る。そして、江戸到着の2日後、等伯は死ぬ。

以上のように、本書では、安土桃山期の、才能さえあれば評価されるという自由闊達な雰囲気の中で、等伯が画才と商才を存分に発揮していく様を描いた好著といえよう。

（会員 青木 耕一）



『セブン・イヤーズ・イン・チベット』

1997年／アメリカ／ジャン・ジャック・アノー監督作品

伝説の登山家と若き日のダライ・ラマ——心の交流と軌跡

「セブン・イヤーズ・イン・チベット」は、オーストリアの登山家ハインリヒ・ハラーの実体験にもとづく小説を映画化した作品であり、かねてより登山愛好家の間では著名であったそうだが、人気俳優ブラッド・ピットが主人公ハラーを演じたことにより世界中に知れ渡った。

第二次世界大戦直前の1939年、ハラーが身重の妻を残してドイツの登山遠征チームに参加し、ヒマラヤ登頂に向かうところから物語は始まる。彼は、高慢で自己中心的な男であり、現実の生活から逃れて自分の名誉欲を追求することに夢中だった。

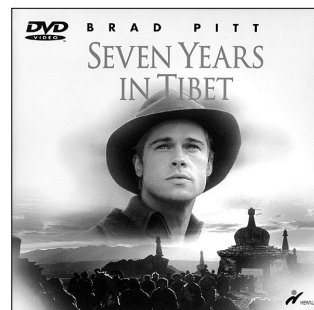
登山チームはヒマラヤ山脈最高峰を目前にしながら、戦争の勃発によりイギリス軍の捕虜となってしまう。何度も失敗しながらついに収容所からの脱走を果たしたハラーは、決死の逃亡の末、聖地チベットへとたどり着く。過酷な逃亡生活の心の支えは自ら捨てたはずの我が子であったが、彼は妻と子から別れを告げられ、もはや帰る場所を失っていた。身も

心もぼろぼろになった彼を迎えてくれたのは、美しく雄大なチベットの自然とそこに生きる心豊かな人々、そして、若き日のダライ・ラマであった。ダライ・ラマ少年との交流により次第にハラーの心が変化していく。しかし、この平和な聖地にも侵略戦争の足音が近づき、7年後、ハラーはチベットを離れ故郷へと帰ることになる。

自我追求のため現実から逃避することばかりに夢中だった登山家と、神として生きることを運命づけられ自由を持たない若き指導者。この出会いにより、2人はともに新しい世界を知り、心を痛め、許し認め合いながら、自分の生きる道を見出し成長していく。

第二次世界大戦と文化大革命という生々しい時代背景が描かれながらも、心に残るのはチベットの美しさとダライ・ラマ少年の笑顔である。静かでさわやかな気持ちになれる作品である。

(会員 加藤 春恵)



『セブン・イヤーズ・イン・チベット』DVD
 税込価格：5565円
 発売元：日本ヘラルド映画
 販売元：ジェネオン エンタテインメント